

J A 松任青年部 YOUTH SITE



【みやば祭・夏】

～宮保地区青年部～



宮保青年部の夏と言えればやはり、祭りです。毎年この時期が来ると、7月より太鼓練習がはじまります。1カ月間掛けて、祭りのために盟友が一致団結して練習に励みます。盟友同士の結束もこの時期が一番強くなる期間だと思います。練習の合間には、枝豆の収穫も行い、量は少なかったですが味も良くみんなで美味しくいただきました。盟友も仕事終わりの疲れている体で頑張つてとても内容の濃い1カ月になりました。

7月25日(土)「みやば祭・夏」当日、絶好の祭り日和になりました。青年部は朝から会場設営に参加し、昼からは1カ月間練習してきた虫送り太鼓を各町内で披露し、地区の皆様にも喜んで頂けたかと思えます。練り歩きから会場に戻ってきてからは、模擬店の焼き鳥の焼き手、仮装パフォーマンスでの盆踊りと青年部



は大活躍でした。そのかいあって「みやば祭・夏」も大盛況で終えることが出来ました。そして1カ月後の8月23日には、「松任フェスティバル」です。発表時間は短かったものの、今年の太鼓演奏最後を締めくくるいい演奏だと思いました。1カ月間という長いよつで短い祭りの期間も終わり、我々盟友は、達成感、充実感、心地よい疲労感で満たされました。

これからの青年部活動も、この1カ月間で得た盟友間の絆が大きな原動力になっていくと思います。

【竜宮虫送り太鼓練り歩き】

～笠間地区青年部～

8月2日(日)、毎年恒例の行事である「笠間地区青年部 竜宮虫送り太鼓練り歩き」を行いました。

7月中旬から練り歩きに向けての練習を始めましたが、練習は仕事が終わった後の夜間であることから、遅い時間まで太鼓を叩くことはできず、毎回、短時間で集中して行いました。

当日は風があつたため涼しく、去年より順調に、笠間地区全8町を巡る竜宮虫送り太鼓が始まりました。容赦なく照り付ける日差し、アスファルトからの熱にも負けず勇壮に響き渡る太鼓の音、地区長が声高らかに読み上げる口上に地区の皆様にも喜んでいただき、また、温かい激励もいただきました。終盤は歩くの





もやっつという状態でしたが、太鼓の前に立つと、バチを握る手、大地を踏みしめる足に自然と力が入り、残っている力の限り太鼓を打ち鳴らしました。今年は、新盟友の参加もあり、活気のあるものとなりました。

午前8時から午後4時30分までの長丁場で、体力の消耗も激しかったのですが、炎天下の中、熱中症で倒れる者もなく無事終わることができました。

今後太鼓の技術を向上させ、竜宮虫送り太鼓の伝統を守っていきたいと思います。

【柏野じょんがら】

〈柏野地区青年部〉

8月14日(金)に、柏野じょんがらが開催されました。柏野じょんがらは、白山市の無形文化財にもなっている地域最大のお祭りで、地域住民はこの日のために何日も前から準備してきました。夜になり、踊りが始まりました。踊り終えた人達が、屋台に集まり大忙しになり、盟友も汗を流しながら、焼きそば・焼きとりを作りましたが、買いに来たくれた人に「ありがとう」と言われると、その汗も心地のいいものを感じました。

柏野じょんがらは地域住民の団結の場でもあり、今後も守っていかなくてはならないと実感しました。



【とうもろこしの収穫】

〈石川地区青年部〉

7月25日(土)に上安田の畑で、石川地区の児童たちと一緒にとうもろこしの収穫を行いました。とうもろこしをメインに、じゃがいもも併せて植えたので一緒に収穫しました。

とうもろこしの収穫は、石川青年部の恒例行事で、毎年多くの子供たちが参加してくれます。収穫のご案内をして回っていると、今年もとうもろこしの収穫はやらないのかといった声が上がっていると聞き、子供たちに楽しんでもらっている実感が湧きます。

例年、いしかわ夏祭りが同じ時期に開催されるので、朝に収穫を行い、そこで収穫をしたとうもろこしをいしかわ夏祭りに出品していましたが、今年はいしかわの台風でいしかわ夏祭りが中止となりました。そのため、収穫も予定日を1週間遅らせて、今年も収穫したものは全部持ち帰ることに。

当日は暑い日となり、大人たちは木陰に避難したり、そうそうに帰る段取りをしたりと暑さにやられていましたが、子どもたちは収穫に夢中で、とうもろこしはあつという間になくなってしまいました。

収穫に参加していただきました方々、とうもろこし作りにご協力いただいた皆様、今年も大変お世話になりました。



【林中納涼夏祭り】

～林中地区青年部～



8月8日（土）、旧松南小学校グラウンドにて行われた林中納涼夏祭りに参加しました。去年は、夏祭りが雨天のため中止となりました。まいましたが、今年は天候にも恵まれたため、たくさんの方々がいらつしやいました。

林中青年部では、毎年夏祭りにはビアガーデンとして焼きそば、串焼き、フランクフルト、生ビールの販売を行っています。当日は、たくさんの方々が参加しましたが、それでも調理・販売が追いつかないほどの来客があり、盟友一同で休む暇もなく一生懸命に作業を行いました。とても繁盛した分ビアガーデンをやりきって、夏祭りを盛り上げることができたという達成感がありました。

今年の夏祭りも地元の方々、青年部OBの協力があったからこそ、無事に終えることができました。来年も今年以上に夏祭りを盛り上げたいと思います。



【山島夏まつり2015】

～山島地区青年部～

「ヤッサ～ヤッサ、ヤッサカ～ヤッサ」

8月2日（日）、盟友を初めとする山島地区の若い衆の威勢のいい掛け声と虫送り太鼓の音が山島地区内に響き渡る『山島夏まつり』が開催されました!!

盟友が1年間かけて、手作りで作り上げた夏まつりのシンボルの大松明、中松明が山島地区全18町内を一日かけて練り歩きしました。

朝、会場の山島ふれあい広場での安全祈願祭を終え、町内練り歩きをスタートさせました。日中は30度を超える猛暑の中でしたが、大きなトラブルもなく過ごすことができました。

立ち寄った町内では、子供からお年寄りまで大勢の方に詰め掛けていただき、虫送り太鼓を叩いたり、お酒を振る舞うなどの交流で、練り歩きの疲れも一気に吹き飛ばす程の盛り上がりでした。

夜の部はふれあい広場にて、山島保育園児や地区住民の盆踊り、小学生のカンテラ行列、壮年会による虫送り太鼓が行われました。そして、メインイベントの松明の会場練り歩きと点火式です。盟友と青年部OB、地区の高校生、大学生など110名ほどの若い衆が力を合わせて、中松明、大松明を肩に担いで無事に練り歩くことが出来ました!!



その後も担ぎ手の力で松明をゆっくりと立てて点火しました。今年の松明もきれいに高く燃え上がり、炎に照らされて真っ赤になった盟友や観客達の顔を見ると、菜種の栽培、松明の作成からまつり当日の練り歩きまでの1年間を思い出されて感無量の瞬間でした。今年も無事にこのような盛大な夏まつりを開催できたのも、地区の住民の皆様、青年部OB、関係団体各位の方々の多大なご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。

